

大東市立生涯学習ルーム「まなび南郷」 外部評価結果

評価対象施設	大東市立生涯学習ルーム「まなび南郷」
指定管理者名	株式会社図書館流通センター
評価対象年度	平成 30 年度、令和元年度、令和 2 年度、令和 3 年度、令和 4 年度
施設所管課名	産業・文化部 生涯学習課

●令和 2 年 1 月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大による社会情勢の変化という特殊な状況下
 においての評価となる。

●コロナ禍における市の対応として

各年度において緊急事態宣言等の発令又は感染症拡大時には、休館等を要請し、休館等に伴う
 利用料収入の減少について、市から指定管理者に対し補填を行った。令和 4 年度は、光熱費高騰に
 伴う指定管理者委託料の見直しを実施した。

1. 指定管理者による自己評価結果に対する意見等

○施設運営の改善点等

- ・利用状況に不足のない人員配置を行っており、協定書・仕様書に基づく施設運営を行っている。
- ・コロナ禍により、市から休館や時間短縮を要請されたが、適切に対応し、開館後も新しい生活様式
 に従い、感染症の拡大を予防するために、消毒等の徹底を図った。

○収支状況等について

- ・コロナ禍に伴う減収及び感染症対策への支出、光熱費高騰の影響が大きく、収支状況は悪化した
 が、創意工夫により支出の削減を図り、収支状況の改善に努めていた。
- ・今後も、新しい生活様式に合わせた施設運営を効率的に務められたい。

2. 市（施設所管課）による内部評価結果に対する意見等

○施設所管課としての評価の仕方

- ・自己評価が適正であるかどうかの、数値や指標等を使って客観的に判断できるようにすることも必要
 である。
- ・自由提案の事業について、進捗状況も含め検証し、内部評価で達成度合いが確認できるようにす
 ること。

○指定管理者に対して指導すべきポイント等

- ・指定管理者が行ったアンケートの内容は、市民からの直接的な声であることを鑑み、事業内容への
 反映、課題等の洗い出しを指定管理者へと共に検討していくことも必要である。

3. 総合評価

- ・協定書・仕様書に基づく施設運営を行っている。
- ・コロナ禍の影響はあるが、感染症の拡大を予防するための消毒・換気・利用定員の制限の徹底など適切な対応を行ったことは評価できる。
- ・地域のさまざまな団体と連携して展示企画を実施するなど、利用者増加に向けた取り組みは評価できる。
- ・自由提案の進捗状況をわかりやすく記載するとともに、未達成の事項については、可能な範囲で事業を進められたい。
- ・アンケートは利用者から直接ご意見をいただける貴重な機会であることを踏まえ、より効果的な施設の管理・運営に反映していただきたい。